

大項目	1	コロナ感染症対応について
質問事項	(1)古河市の感染症対応体制の整備状況について ①一人世帯や高齢者で、感染の疑いのある人の病院への交通手段について、公共交通手段の利用制限が必要か。 ②医療機関の病床数など十分な確保が進んでいるのか、市民への告示が必要とされているのではないか。	

答弁内容 I	<p>古河市の感染者対応体制の整備について、はじめに、医療機関への通院についてですが、困難な方に対しては、電話や情報機器を用いて、診療を実施している医療機関もございますので、市のホームページや、厚生労働省のホームページなどでご確認いただき、ご利用をお勧めしたいと思います。</p> <p>次に、古河市内の新型コロナウイルス感染症における感染者の受け入れ病床数の状況ですが、古河市のみの公表数値はありませんが、茨城県全体として、1月21日まで410床であったものを、2月5日には、県知事から600床まで増やし、その内重症用は56床という発表があり、2月8日現在の病床稼働数は218床であり、病床稼働率はかなり改善されたものと思っております。</p> <p>今後とも、国・県の情報の提供に努めるとともに、県や医師会等との連携を図りながら、感染防止対策を進めてまいります。</p>	
--------	---	--

【取組状況 I】

<p>岡部議員の古河市の感染者対応体制の整備について、令和3年度の取り組み状況についてご報告します。</p> <p>医療機関への通院が困難な方に対しましては、電話や情報機器を用いて、診療を実施している医療機関もございますので、市民から問い合わせがあった際に案内しております。</p> <p>次に、古河市内の新型コロナウイルス感染症における感染者の受け入れ病床数の状況ですが、古河市のみの公表数値はありません。茨城県全体としては、877床を確保しており、令和4年2月14日時点の病床稼働数は330床、病床稼働率は37.6%です。そのうち重症病床は80床あり、令和4年2月14日時点の病床稼働数は9床、病床稼働率は11.2%です。今後、高齢の陽性者が増えることで、病床がひっ迫することが懸念されております。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、古河医師会との連携により新型コロナワクチン接種を進めているほか、古河市ホームページ等により、市内における感染者の状況、基本的な感染予防等、市民への情報発信を行っております。今後も国・県の動向をみながら、随時、情報を更新してまいります。</p>		
---	--	--